

第17回

# 理化学研究所里庄セミナー

— 仁科芳雄博士顕彰記念科学講演会 —



独立行政法人理化学研究所  
和光研究所 基幹研究所  
山崎原子物理研究室 専任研究員

講師  
**和田道治** 先生

### プロフィール

栃木県生まれ。東北大学理学部卒、理学博士。東京大学 原子核研究所 助手、高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 助手等を経て、1999年より現職。  
平成6年 第1回原子核談話会新人賞受賞。  
専門分野は原子核物理学(実験)。

### 演題 「精密原子分光によるエキゾチックな原子核の研究」

太陽の光をプリズム分光器で観測すると七色に分かれます。その分光器の精度を上げると七色の中にいくつもの黒い線が観測され、それは太陽の大気原子による吸収であることがわかりました。さらに精度をあげると観測できる超微細構造から、原子核のスピン(駒のような性質)が発見されました。このように、分光学の精度があがることによって新しい発見がなされ物理学が発展してきたのです。我々は、今日可能なもっとも高精度の分光技術を、普通には存在しないエキゾチックな原子核に適用して新しい発見を目指しています。



独立行政法人理化学研究所  
和光研究所 仁科加速器研究センター  
本林重イオン核物理研究室  
センター研究員

講師  
**関口仁子** 先生

### プロフィール

埼玉県生まれ。  
東京大学大学院理学系研究科修士、理学博士。理化学研究所基礎科学特別研究員を経て、2007年より現職。  
平成20年度 文部科学大臣表彰 若手科学者賞受賞。  
専門分野は原子核物理学(実験)。

### 演題 「原子核のチカラ:核力研究最前線 "三体力"に迫る」

原子核の中で働くチカラ、核力は、湯川秀樹博士が提唱した中間子論により二つの核子(陽子と中性子の総称)の間を中間子という粒子が介在する“二体力”として理解されてきました。ところが湯川理論から70年を経た今、原子核の基本的な性質がこの二体力では説明できない事が明らかになり、新たなチカラ、三体力の存在が注目を浴びています。三体力とは第三の核子が二つの核子のそばに近づく事によって生じるチカラの事。ちょっと妖しい感じがしますね。今回、理化学研究所を中心に切り開いてきた核力研究の最前線“三体力”についてお話させていただきます。

**日時** 平成20年**8月23日**(土) 9時30分~12時

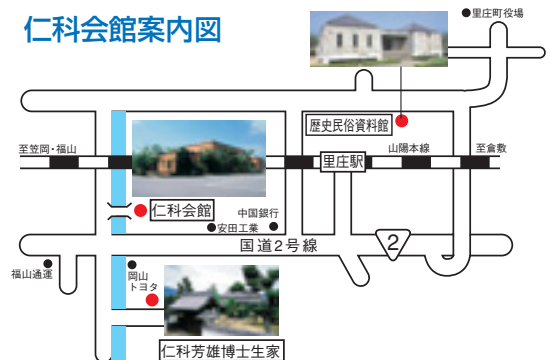
**会場** 仁科会館 2階 仁科記念ホール

**募集人員** 120名 **参加費** 無料

**参加申込** 8月9日(土)までに仁科会館へ

郵便・電話・E-mail・FAX等でお申込み下さい。  
〒719-0303 岡山県浅口郡里庄町浜中892-1  
TEL・FAX 0865-64-4888  
E-mail: w-koumin@town.satoshio.okayama.jp  
URL: http://www.kagaku.nishina.town.satoshio.okayama.jp

### 仁科会館案内図



■ アクセス  
JR山陽本線 里庄駅下車 徒歩…20分 タクシー5分  
里庄駅前から「里見交通」のタクシーに  
乗り合わせてご乗車下さい。(無料送迎)

**主催** 独立行政法人 理化学研究所・科学振興仁科財団 仁科会館

**後援** 岡山県教育委員会・里庄町教育委員会・朝日新聞岡山総局・毎日新聞岡山支局・読売新聞大阪本社  
中国新聞備後本社・山陽新聞社・山陽放送・NHK岡山放送局・岡山県ケーブルテレビ振興協議会